

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和60年5月27日

第8報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece</i> sp.*	20		
(藍) <i>Phormidium tenue</i> *	40		
(黄鞭) <i>Chrysophaerella</i> sp.	160		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	340		
(珪) <i>Melosira italica</i>	360		
(珪) <i>Melosira distans</i>	240		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	40		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis</i> var. <i>pusilla</i>	40		
(珪) <i>Acanthos</i> sp.	40		
(珪) <i>Nitzschia holsatica</i>	160		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	240		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	80		
(緑) <i>Dictyosphaerium pulchellum</i>	640	◎	
(緑) <i>Quadrigula chodatii</i>	80		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	40		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	160		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	520	○	◎
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	20		○
(藍) 藍藻綱	60	1.9	0.3
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	160	5.0	0.1
(珪) 珪藻綱	1220	37.9	15.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	240	7.5	5.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1540	47.8	78.4
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	3220	総体積	7.28E+06
種類数	18	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Dictyosphaerium pulchellum</i>	640

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	520

植物プランクトン第1優占種



Dictyosphaerium pulchellum
(ディクチオスファエリウム プルケルム)
緑藻綱

4、8、16、32細胞からなる球形ないし卵形の定数群体で、透明な寒天状の基質で包まれている。細胞はほぼ楕円形で、群体の中心から放射状に伸びる寒天質状の紐状体でつながっている。

植物プランクトン第2優占種



***Closterium aciculare*
var. *subpronum***
(ミカヅキモ)
緑藻綱

夏季に非常に多く増殖する。琵琶湖で最も多く見られるプランクトンの1つである。